

昭和60年度新技術実証事業報告

水産庁 漁業課

伊禮勇雄・佐多忠夫・新里勝也

1. 課題

中層曳縄釣試験

2. 目的

本県の底魚資源は年々減少の一途をたどっており、将来有望視される資源は、中表層の回遊魚（カツオ、マグロ、サワラ、シーラ、ツムブリ、カジキ）である。

従来、これらの回遊魚を釣獲する漁法は表層曳であるが、操業時間帯により魚種の浮沈みがあり、釣獲率に変動がある。

そのことを踏まえ、昭和58年度技術改良試験である一定の成果を得たので、引続き中層の曳縄釣漁法の開発と回遊魚資源の有効利用を図るため、新技術実証試験を実施した。

3. 試験概要

(1)期間及び使用漁船

第1回操業・昭和60年11月19日～22日・良道丸（宮城良三）2.44トン

第2回操業・昭和61年2月19日・第1栄丸（川田一正）2.07トン

(2)操業海域

糸満から離岸18～20マイル内のSW海域に設置されている5基の浮魚礁周辺

久部良から離岸4マイル内のSW海域に設置されている浮魚礁周辺

(3)操業方法

潜行板による中層曳縄釣漁法

鉛ビン（弓角、クルクル、しやびき、マルポ、タコホロ等の擬餌のセット）及びステンワイヤー（#20）による中層曳縄釣漁法

(4)協力機関及び研究グループ

糸満漁協、与那国町漁協、糸満漁協浮魚礁管理運営委員会、与那国町漁協青年部

4. 要約

幹縄を鉛ビン（弓角、クルクル、しやびき、マルポ、タコホロ等の擬餌のセット）及びステンワイヤー（#20）を使用にしての漁具と潜行板漁具で回遊魚を対象に実証試験を実施した。

糸満沖漁場に於いては、カツオ、マグロ、サワラ、シーラの計8尾、46kgを釣獲し、与那国沖漁場では、カツオ、マグロ、シーラの計30尾、46.3kgが釣獲された。

5. 材料及び方法

(1)材料

イ、潜行板による中層曳縄釣漁具1組

ロ、鉛ビン（弓角、クルクル、しやびき、マルポ、タコホロ等の擬餌のセット）及びステンワ

ヤー（#20）による中層曳縄釣漁具

(2)操業方法

イ、中層曳潜行板漁具の操業方法

浮魚礁を中心に200m～600mの間隔で旋回しながら、船速は適宜加減（4マイル～7マイル）で、船尾に漁具との間にヨリトリゴムを結び、手綱で釣獲尾数を確認しながら操業した。

ロ、中層曳鉛ビシ漁具の操業方法

船速は1マイル～3マイルで、漁具にシャクリを入れながら、浮魚礁周辺を旋回した。

6. 結果

漁期並びに天候条件の良くない時期に実証試験を実施したが、サワラ1尾6kg、シーラ3尾9.6kg、カツオ18尾23.3kg、マグロ16尾53.4kgの計38尾92.3kgが釣獲され、ある一定の成果を得ることができた。

7. 考察

(1)潜行板による中層曳縄釣漁具

イ、この漁具は、道系の中間に何本か釣針が付けられ釣獲率は高くなるが、構造は複雑になる。

ロ、このため、漁具の投下や揚縄時に手間どり、又、釣針による危険があったので、ハワイフックで改良した。

ハ、潜行板後方の擬餌針に釣獲されると潜行板が浮子するので、考慮すべきである。

(2)鉛ビシ及びステンワイヤーによる中層曳縄釣漁具

イ、潜行板による中層曳縄釣漁具に比べ、針数が少いため一回投縄による釣獲率は低いが、魚の喰付きは早い。



ルカノ礁

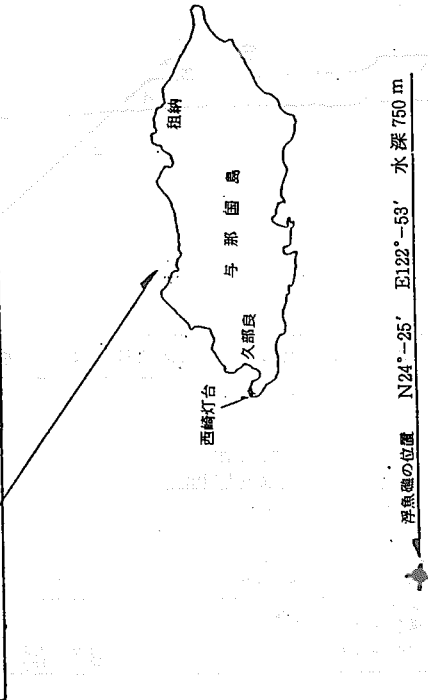
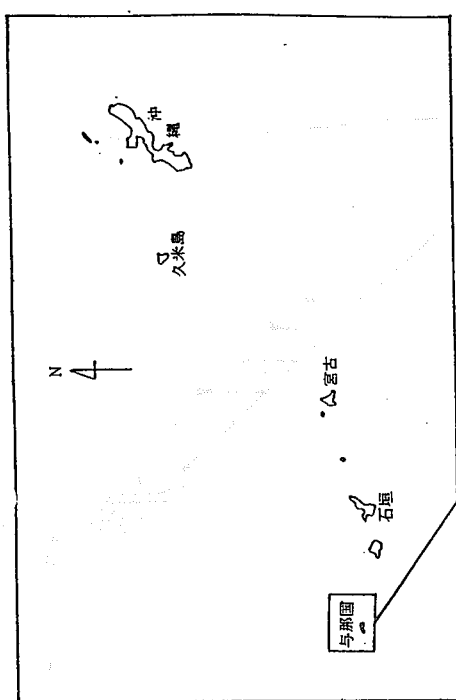
渡路敷島

外地島

久地島



符号	設置年月	水深	設置場所
No. 1	N 25°-50'-53"	E 127°-28'-31"	1,000 m S 59 12
No. 2	N 25°-52'-45"	E 127°-31'-32"	950 m " " "
No. 3	N 25°-52'-35"	E 127°-34'-08"	1,200 m " " "
No. 4	N 25°-56'-24"	E 127°-36'-36"	650 m S 60 4
No. 5	E 25°-55'-30"	E 127°-46'-0"	1,100 m S 60 7



浮魚礁の位置 N24°-25' E122°-53' 水深750m

図一 1 試験実施漁場図

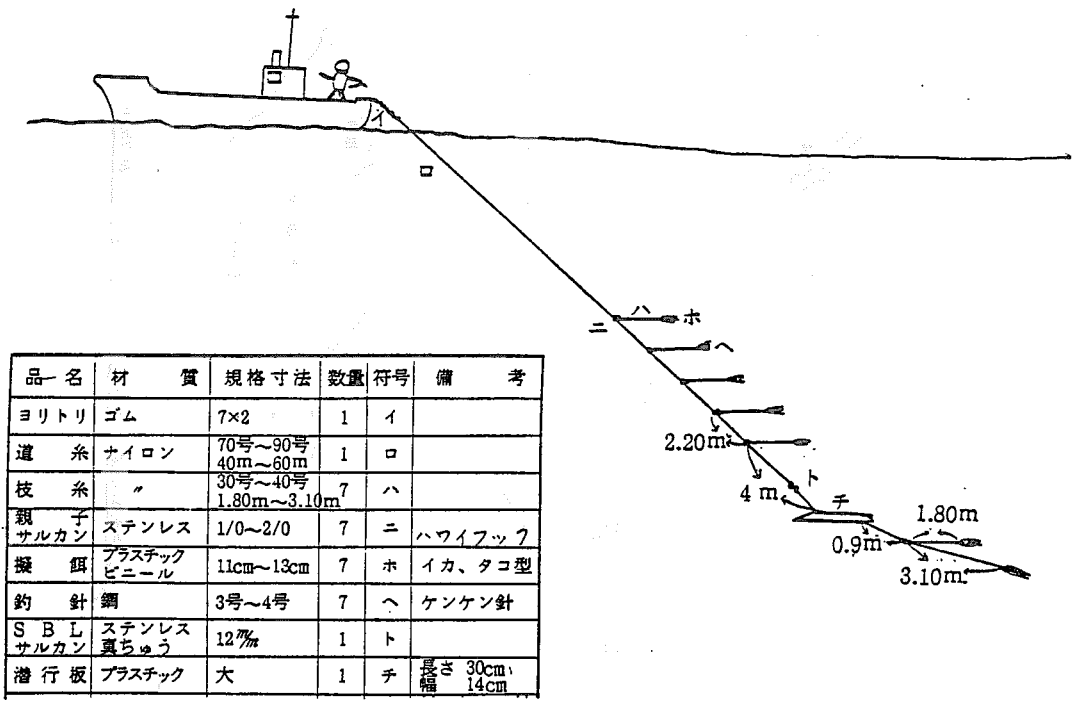


図 - 2 漁具の構造

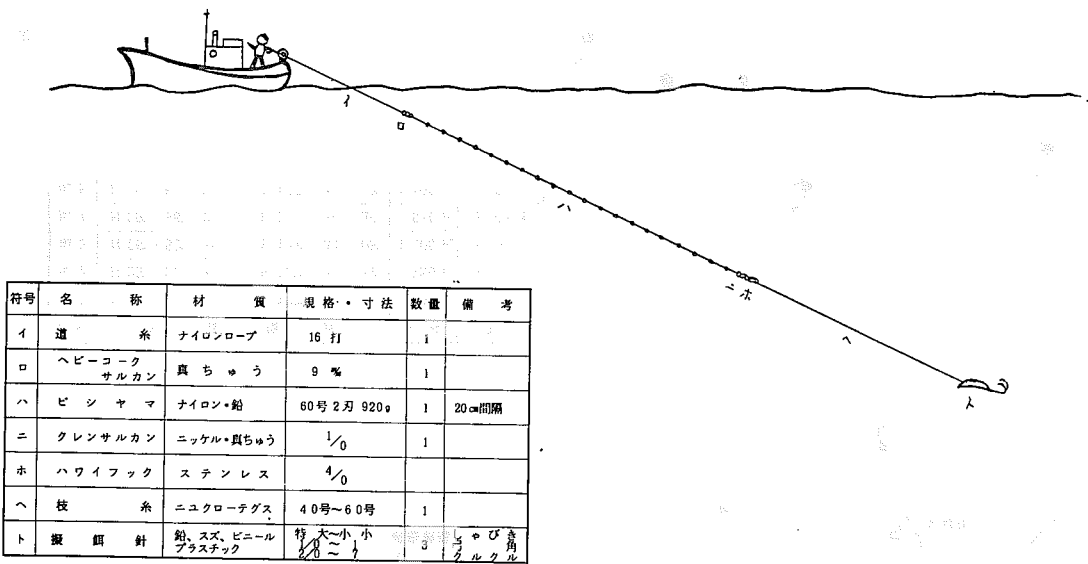


図 - 3 漁具の構造

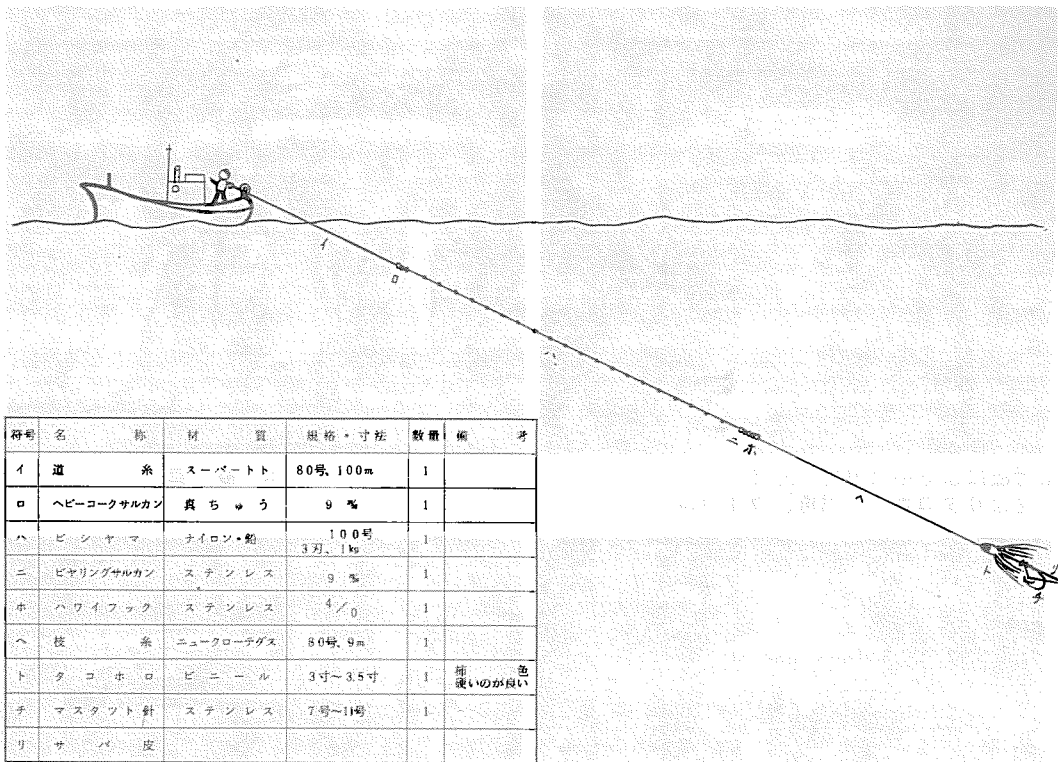


図-4 漁具の構造

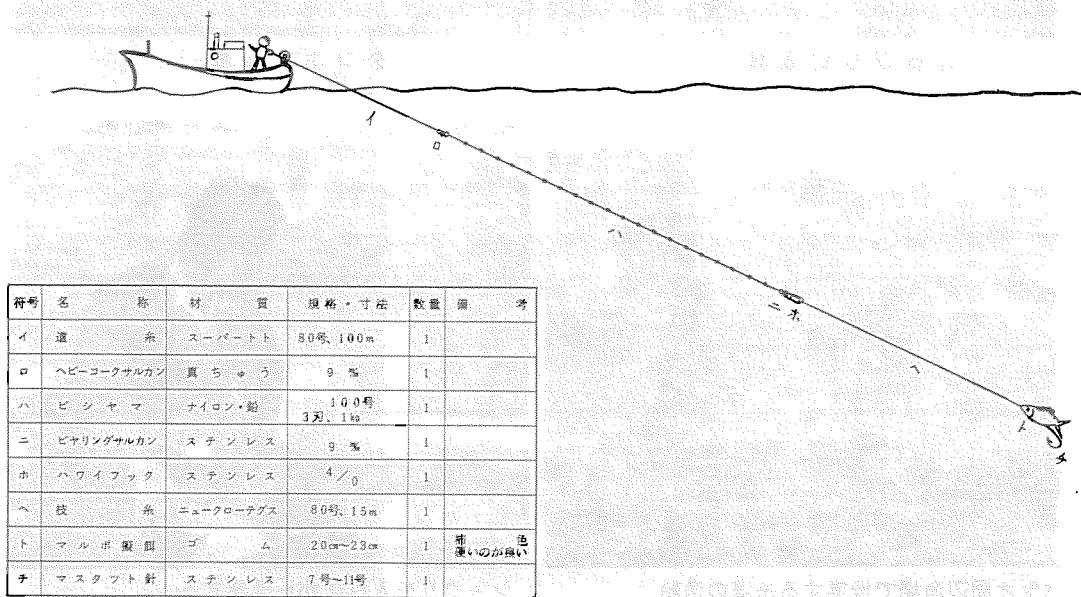


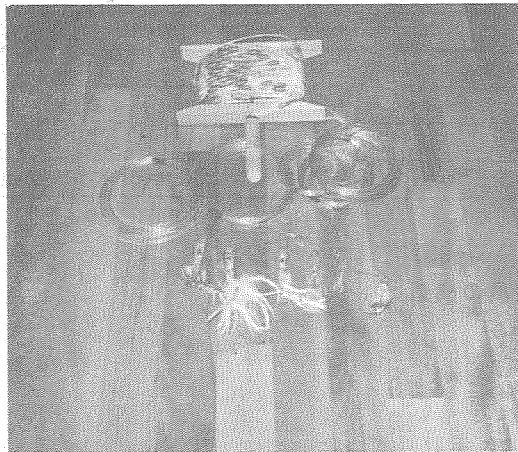
図-5 漁具の構造



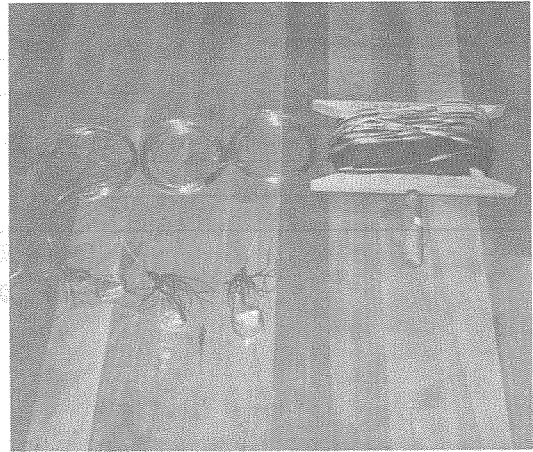
潜行板による中層曳縄釣漁具
(左よりタコホロ、弓角、クルクル)



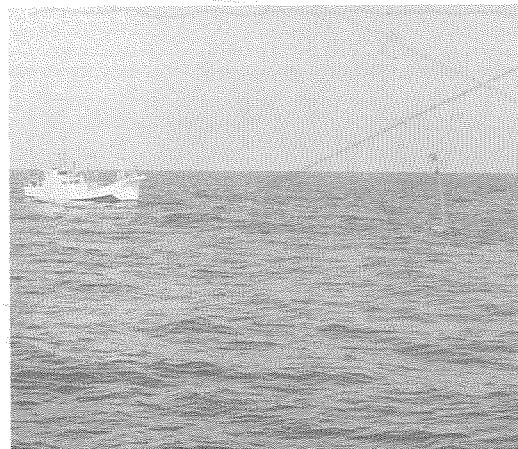
マルポ擬餌



しゃびき釣漁具



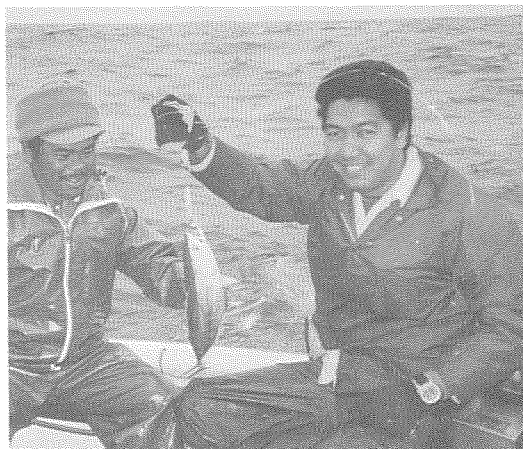
タコホロ擬餌



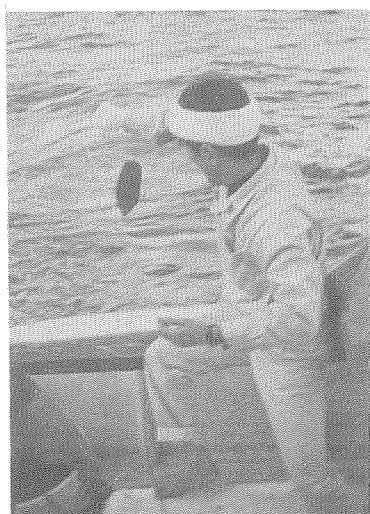
パヤオ周辺漁場で操業する糸満の漁船



シャクリを入れながら操業する
新里勝也普及員



弓角擬餌に釣獲されたカツオ、マグロ



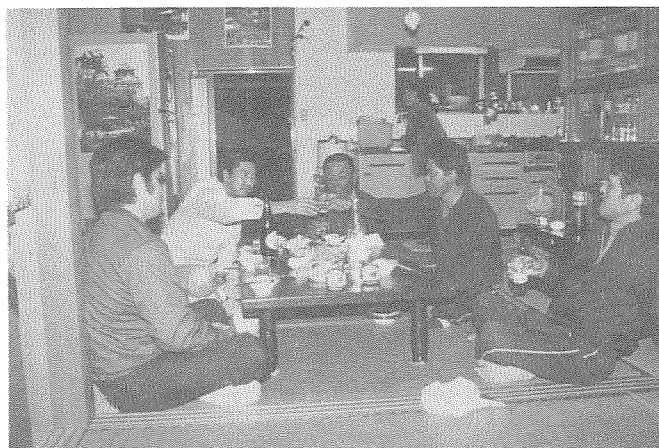
潜行板の投下



しゃがき釣で獲ったマグロ
向って左、与那国町漁協青年部長
川田一正氏



釣獲されたカツオ、マグロ



実証試験を無事終え、乾杯